



大正っ子

No.31

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou
Elementary School

HP:<http://www.taisyo.obihoro.ed.jp>

平成28年7月20日

昨日、高学年の授業参観・懇談会を実施しました。多くの方に参観いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。いよいよ1学期の登校も3日となりました。今、学校では、1学期の締めくりに余念がありません。さて、今号では、過日行われた『かぜるん紙芝居公演』の様子を中心にお伝えしていきます。

北海道紙芝居研究会「かぜるん」紙芝居公演

かぜるんから、感じ、学んだことは、子どもたちの心の中にしっかりと根をおろし、

～ かぜるん(北海道紙芝居研究会)紙芝居公演を終えて ～

今年で10回目を数える「かぜるん(北海道紙芝居研究会)」の紙芝居公演が、7月15日(金)に本校で行われた。本公演は、『じゃがまる農園活動』と並ぶ本校の教育活動の基軸として大正小らしさあふれる取組となっている。10年前に産声をあげ、図書ボランティアの方々が奔走する中で培われ、草創期の校長先生をはじめとする職員の協働によりかぜるんの基礎は築かれた。

かぜるん、それは、わずかな時間。演じ手の思いが教室いっぱいに広がり、観るもの全てを特別な空間へと引きこむ。子どもたちの瞳は輝き、体が自然に前へ前へ引き寄せられていく。その光景は、静寂という言葉がぴったりである。演じ手の声と鳥のさえずりのごとく。これが、かぜるん公演の醍醐味である。

公演が終わると、心地よい風が吹きぬける。紙芝居の余韻を十分に残して…。それぞれの胸に感動を呼び起こした10回目の『かぜるん公演』は、こうして成功裏に幕を閉じた。

～ それでは、かぜるん紙芝居公演の様子を写真でつづっていきます。ご覧ください。～



写真は、各教室での様子です。
『かぜるんワールド』に引き込まれ
子どもたちの様子がうかがえます

裏面に続く

かぜるん紙芝居公演は、学級担任の思いや願い(「子どもたちに考えさせたい、子どもたちに大切にしてほしい」)をテーマ化することからはじめます。これを受けて、かぜるんの皆さんと本校の図書ボランティアの皆さんが、何度も打合せを重ね、形あるものに整えていきます。

つまり、学校と学校支援ボランティア(図書ボランティア)の方々、かぜるんの皆さんが手を携えて創られる最良の結晶と言えます。

お世話になった「かぜるん」の方々を紹介します(5名の方々です)



井林 芳枝さん

福寿 裕美子さん

金田一 千尋さん

小柳 美和さん

深田 早苗さん

かぜるんの方々は、全道規模で活動を展開されています。遠くは、小樽市・札幌市・剣淵町そして、帯広とお住まいも広範囲にわたっています。本校の子どもたちのために遠路かけつけてくださいます。

今年も大変貴重で、有意義な時間を過ごすことができました。また、この公演に関わっていただいた多くの方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

ゆっくりとゆっくりと大きく広がっていくことでしょう ～

6年生全員で、楽しく有意義な修学旅行を終えることができました

6月30日、7月1日の1泊2日で、6年生は修学旅行(今年から小樽まで足を延ばしました)に行ってきました。運動会が終ってからの短い時間でしたが、協力して自主研修の計画などの準備を進めてくれました。

雨にあたることなく、修学旅行日和の中、全行程を計画通りに実施することができました。

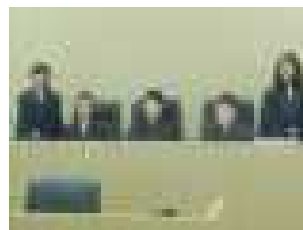
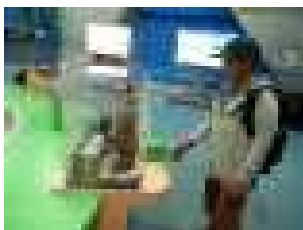
また、愛国小学校との合同実施ということもあり、親交を深めることができましたようです。

こうして学年最大の行事を6年生全員できちんと終えることができました。修学旅行までの諸行事は、自分たちのことはもとより、他の学年のことも考えながら進めていかなければなりません。今回の修学旅行では、6年生になって、はじめて自分たちのことだけを考えて楽しめる行事となりました。

～ 修学旅行の様子を写真でつづっていきます。ご覧ください。～

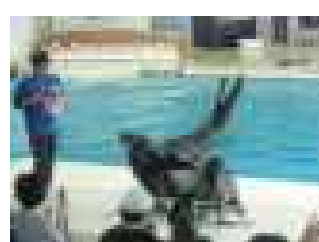
1日目 札幌市

青少年科学館 → 札幌自主研修(サンピアザ水族館・札幌裁判所他) → 終点は大通りテレビ塔



2日目 小樽市

小樽での製作体験教室 → 小樽自主研修 → おたる水族館 → 一路 帯広へ



昨日の高学年の授業参観・懇談会 大変お疲れ様でした。詳細は次号でお伝えします